

Unity Sunday 礼拝順序

2017年11月5日 午前10時30分 主会堂

今日は合同礼拝なので、礼拝順序は主会堂の入り口で手渡されます。

今日の礼拝は、Unity Sunday として、英語部の Katheryn Ray 牧師が説教されます。収穫の秋、実りの秋にあつて、私たちは主の御恵みの豊かさを感じることができまが、同時に信徒である私たちが主に感謝しつつ、どのように主の御心に従って、教会を経済的にサポートしていくかは大きな課題であります。私たちが、一つの心をもって、教会の歩みに貢献できますように。

交わりの時 礼拝後 Howel Hall

今週の聖句：しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。それは、死が一人の人によってきたのだから、死人の復活もまた、ひとりの人によってこなければならぬ。アダムにあつてすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあつてすべての人が生かされているのである。《コリント人への第一の手紙15章20-22節》

憩いの場

“感謝のいけにえ”

“感謝のいけにえを捧げる者はわたしをあがめる。自分の行いを慎む者にはわたしは神の救を示す。”（詩篇50篇23節）

早いものでもう11月になりました。11月と言えば、サンクスギビングですが、学生のころ、その日は教会の礼拝とポットラックの日でした。中国系の教会なのでターキーも丸焼きではなく、それぞれが独自の方法で調理していて、個性的で面白かったです（丸焼きは野蛮なのだそうですが北京ダックは別のような感じです。）ともあれ、通常アメリカの感謝祭は家で祝うこともあつて、家族が近くにいない学生にとってはありがたく、当時の感謝祭は印象に残っています。そこには教会全体で主に感謝する心があらわされていたのです。

さて、聖書には感謝という言葉がたくさん書かれています。その中でも特徴的なのは、感謝のいけにえ、ということばです。詩篇50篇において、主は、動物のいけにえを捧げながら、心が神にあらず、感謝をしていないイスラエルの人々、儀式的にささげられたいけにえにより、自分を神と等しくした人々を責められました。（22節）彼らのいけにえは、神がなされた御業への感謝ではないことをご存知だったからです。感謝のいけにえを主にささげよ（14節）というみことばは、収穫の季節にある私たちにも、ふさわしいみことばではないでしょうか。私たちが何かを主の為にするとき、それは主に対する感謝の心からなされるべきことなのです。11月5日は合同礼拝で、約束献金のカードを出す日でもあります。どうか私たちの献金が、神への心からの感謝をもってささげられますように。（Scroggins 由紀）

記事: 消息

—旅行をされている方々、また、陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、小坂るみ姉、武井里花姉など、主の癒しを必要とされている方々、又転居を準備されている方のため、そして特に、現在、ホスピスに入られた南部 Ethel 姉の為に祈りください。

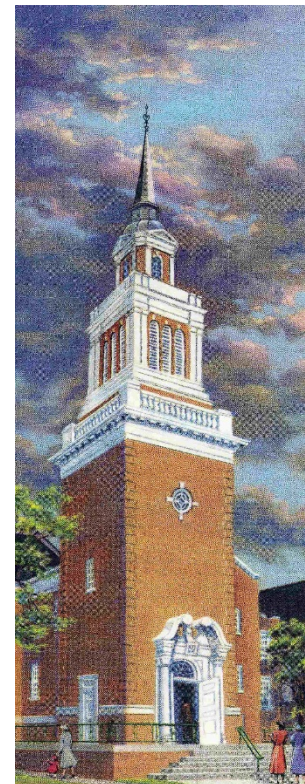
—10月29日の説教は”霊的な解放 4”と題して、ルカによる福音書13章10-17節からでした。主イエスは安息日に会堂に来ていた18年間病を患っていた女性を癒されましたが、会堂司は、安息日の癒しを批判しました。それに対して主は、彼らが自分たちに有益な家畜には水を飲ませることを指摘され、彼らを偽善者と言われました。神の私たちに對する癒しという御業が、束縛からの解放という意味があることについて考えました。

お知らせ

—本日は Unity Sunday にあたり、主会堂で合同礼拝が午前10時30分からもたれます。Daylight Saving Time が終わる日ですので、お気を付けください

—11月11日は午前10時から午後4時まで、JASCにて Holiday Delight (子供祭り) が行われます。生け花や和太鼓などの文化的行事でもあり、大人も楽しめる催しですので皆さんご参加ください。

発行: 2017年11月1日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200 Ext. 26



週報

第3549号
2017年 11月5日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org